

南会津高校1年「山内花さん(二軒在家)」 距離女子クラシカルで優勝

南会津高校1年生の山内花さん(二軒在家)が、下記スキー大会のクロスカントリー競技において、優勝を果たしました。

只見中学校時代はバレーボール部に所属し、スキーは特設部で取り組んでいた山内さんですが、中学3年生の時に県中学体育大会フリー・クラシカル競技で優勝し、その後行われた東北大会で4位入賞、全国大会、国体など大舞台を経験し、高校から本格的にスキーに専念することを決め、今回優勝という結果を取めました。今後行われる全国大会などでの活躍が期待されます。

◆第62回県高校体育大会スキー競技クロスカントリー
距離女子クラシカル(5km)／優勝

◆第69回県総合体育大会クロスカントリー競技
少年女子5km／優勝(2連覇)



◀▲(写真提供/福島民友新聞社)
県総体スキー距離クラシカル
で大会2連覇を果たした山内
さん。おめでとうございます!



▲菅家町長(中)へ報告した脇坂齊弘さん(中右)、山内征久さん(中左)、馬場由人さん(右)、目黒大輔さん(左)

只見の米でご当地焼酎 「ねっか」焼酎の製造を始める

1月31日、地元農家など5名で設立した合同会社「ねっか」の皆さんが、焼酎製造を始める報告で菅家町長を訪問されました。ねっかは、町産の米を使って焼酎を製造し、地域の活性化につなげようと昨年7月に発足しました。梁取の空き家を改修して製造拠点を設け、地元の特産品を原料にすることなどを条件とした国税庁の「特産品しょうちゅう製造免許」を1月24日に県内で初めて取得し、4月17日からの販売開始を目指します。代表の脇坂齊弘さんは「焼酎を保存する樽も地元産の木材で作り、焼酎ラベルも只見出身の中野李央くんをお願いした」と焼酎の材料から関わる人まで全て地元こだわっていると話されました。今後、町の雪まつりで試飲ができるよう準備を進めていきます。

新種目を増設!只見町の選手活躍! 只見毎日杯Gスラローム大会

今年で44回目となる「只見毎日杯ジャイアントスラローム大会」(只見町、町スキー協会、毎日新聞社共催)が1月29日、只見スキー場で開かれ町内外から67名の選手が参加しました。

今回から従来の競技種目より7増の20種目で行われ、小学1年生男女を対象にスタート位置を下げた「キッズチャレンジ」を新設したほか、60歳以上のシニア男子を年齢に応じて5種目に分けるなど、幅広い年齢層に対応した大会を実施し、最高齢80歳の方が参加されました。大会では只見町の選手「小学女子2部/鈴木来菜さん」と「成年男子4部/目黒正さん」が優勝する活躍を見せ、大会は大いに盛り上がりました。



▲ポール際を攻める目黒さん(左)と鈴木さん(右)



▲優勝した只見スキーチームの目黒さん(左)と只見町スキースポーツ少年団の鈴木さん(右)

只見町固定資産評価審査委員会 委員に渡部茂氏が任命

1月10日、町役場において「只見町固定資産評価審査委員会委員の辞令交付式」が行われ、菅家町長から渡部茂さん(只見)に辞令書が手渡されました。渡部さんの任期は前任者の残任期間となり、平成28年12月22日～平成29年9月30日までとなります。また、固定資産評価委員会は全体で3名体制であり、現任の本名保美さん(黒谷)と舟木和一(小林)さんと共に、委員の職務にあたります。



▲辞令書を手にする渡部茂さん(左)と手渡した菅家町長(右)

只見自慢かるたで熱戦!! 世代間交流「かるた大会」初開催

1月21日、朝日振興センターで只見自慢かるたを使った「かるた大会」が初開催され、町内の大人や子ども約40名が参加しました。

この大会は世代間交流を目的に教育委員会が主催し、人材育成ダイヤモンドプラン4期生が3年前に作成した手作りの「只見自慢かるた」を使って行われました。

大会では4期生の皆さんが札を読み、参加者は勢いよく札に手を伸ばしていました。



▲自然・文化など只見の特徴が描かれた「只見自慢カルタ」を使って行われたカルタ大会

梁取地区の伝統行事 こがいまんざい 蚕養万歳と早乙女踊りで新年祝う

1月7日、梁取地区で新年を祝う歌舞「蚕養万歳」と、五穀豊穰・御家内安全等を祈願する「梁取早乙女踊り」が行われました。

この伝統行事は地域の子どもから大人まで参加し、梁取集会施設でお披露目を行った後、集落内の家を巡ります。巡る家は、区長や班長宅、厄年、新築、婚礼のあった家などとなっており、今年は6軒を巡り新年を祝いました。



▲早乙女踊りに先立って行われる蚕養万歳

スノースポーツの楽しさ伝える 未就学児向けスキー教室

明和自治振興会と明和振興センターが主催する「未就学児スキー教室」が、1月の日曜日(全4回)に南郷スキー場で開かれ、明和保育所さくら組の児童8名が参加しました。

参加した子供たちは、リフトの乗り方やスキーの滑り方など基本を学んだ他、おやつ拾いなどを行い雪の楽しさを体験しました。



▲インストラクターからスキーの基本を学ぶ児童